

【事務事業シート】

1

当初

事 項	水産業強化支援事業費						予算主管課		水産課			
事 業 概 要	水産物安定供給に必要な漁業生産基盤としての共同利用施設の整備を図るため、市町等が実施する漁業構造改善事業に要する経費の一部を補助する。						始期					
							終期					
K P I	本事業による漁業共同施設の整備箇所数											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	26 箇所		目標値	27 箇所		目標値	29 箇所		
	実績値	23 箇所		実績値	25 箇所		実績値	27 箇所		実績値	箇所	
	ストック /フロー	ストック		達成率	96.2 %		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	409,435 千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円		決算額	108,847 千円		決算額	千円		

6 年度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	整備を必要とする共同利用施設については、要望に応じて対応するため、見直しする予定はないことから、8年度予算の見直しは想定していない。								

2

当初

事 項	種子島周辺漁業対策事業費						予算主管課		水産課			
事 業 概 要	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）によるロケット打上げが種子島周辺漁業に及ぼす影響に対処するため、漁協等が実施する共同利用施設等の整備に要する経費の一部を補助する。						始期					
							終期					
K P I	本事業による漁業共同施設の整備箇所数											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	3 箇所		目標値	4 箇所		目標値	0 箇所		
	実績値	3 箇所		実績値	3 箇所		実績値	4 箇所		実績値	箇所	
	ストック /フロー	ストック		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	6,964 千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円		決算額	6,730 千円		決算額	千円		

6 年度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	整備を必要とする共同利用施設については、要望に応じて対応するため、見直しする予定はない。								

3

当初

事 項	日本一の養殖マサバ産地づくりプロジェクト事業費							予算主管課	水産課	
事 業 概 要	天然資源に依存しない完全養殖による人工種苗を用いて、環境に配慮した持続的な養殖生産を図るとともに、他県との差別化や養殖技術の高度化を図り、日本一の養殖マサバ産地を目指す。							始期	2024	
								終期	2026	
K P I	水産研究センターにおけるマサバの人工種苗生産尾数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	0 尾	目標値	10000 尾	目標値	50000 尾	目標値	75000 尾
	実績値	尾	実績値	尾	実績値	45000 尾	実績値	尾	実績値	尾
	ストック / フロー	フロー	達成率	%	達成率	450 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	6,096 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			千円	決算額	5,330 千円	決算額	千円	決算額	千円	

6
年
度

要因分析

要因

総括

見直し方向性

維持

6年度の目標達成率は想定よりも高く、事業の進捗状況を踏まえると、KPIは目標達成と考えられることから、7年度の執行方法の見直しは想定していない。

[illegible]

5

当初	事 項	スマート水産業普及促進事業費								予算主管課		水産課			
5	事業概要	専門家を講師とする最新のスマート水産業に係る研修会を開催するとともに、魚病診断等支援システムの活用を推進するための研修会を開催し、スマート水産業を推進する。								始期		2022			
										終期		2025			
	K P I	スマート水産業人材年間育成数													
KPI種別		上がるの良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
R 4 年 度		目標値	60 人		目標値	120 人		目標値	180 人		目標値	人			
実績値		人		実績値	80 人		実績値	143 人		実績値	人		実績値	人	
ストック /フロー		ストック		達成率	133.33 %		達成率	119.2 %		達成率	%		達成率	%	
コ ス ト			最終現計 予算額	7,260 千円		最終現計 予算額	7,436 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	6,532 千円		決算額	6,778 千円		決算額	千円		決算額	千円		
6 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持		6年度の目標達成率は想定よりも高く、事業の進捗状況を踏まえると、KPIは目標達成と考えられることから、7年度の執行方法の見直しは想定していない。											

6

当初

事 項	媛スマ養殖用種苗安定供給事業費						予算主管課	水産課		
事 業 概 要	愛育フィッシュ全体のけん引役として期待される養殖スマの生産量を増加させ、産業として定着させるため、技術開発事業によって得られる配合飼料の早期餌付け技術により生産の効率化を図り、養殖業者へスマ種苗を安定供給する。						始期	2019		
							終期	2027		
K P I	媛スマ種苗生産尾数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度	目標値	60000 尾	目標値	110000 尾	目標値	29500 尾	目標値	36000 尾
	実績値	39700 尾	実績値	104880 尾	実績値	101570 尾	実績値	尾	実績値	尾
	ストック /フロー	フロー	達成率	174.8 %	達成率	92.3 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現行 予算額	12,766 千円	最終現行 予算額	11,948 千円	最終現行 予算額	千円	最終現行 予算額	千円
			決算額	12,625 千円	決算額	11,842 千円	決算額	千円	決算額	千円

6
年
度

要因分析	要因 配合飼料への早期餌付け技術の開発により、約11.6万尾を生産し、2年連続で10万尾を超える生産に成功したが、媛スマ指定生産者の配付希望尾数が目標値を下回ったため、目標未達となった。	
	総括	
見直し方向性	維持	媛スマ養殖の課題は、飼料価格の高騰と種苗配付後の低い生残率であり、本事業では、水産研究センターでの育成期間を延長して種苗を大型化し、初期減耗が落ち着いた段階で生産者に配付することで、生残率の向上につなげることににより、KPIは目標達成すると考えられることから、7年度の執行方法の見直しは想定していない。

